

キーワード

肝疾患

非アルコール性脂肪性肝疾患

肝硬変

NAFLD

NASH

MASH

▼こちらから▼



公式サイト

## チオアセトアミドおよび肝臓X受容体アゴニストの投与による 短期間発症型非アルコール性脂肪性肝炎モデル

弊社で実施可能なチオアセトアミドを用いた短期間で発症する非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）モデルをご紹介します。詳細についてのご質問やご相談がございましたら、是非お気軽にお問合せください。

### スケジュール・試験方法

**使用動物：**マウス C57BL/6J

**群構成：**Control群（コーン油+DMSO/PBS, i.p.）

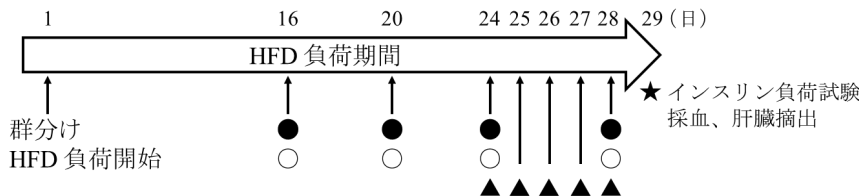
TAA-100 群(TAA 100mg/kg+LXR-a, i.p.)

TAA-200 群(TAA 200mg/kg+LXR-a, i.p.)

CCl<sub>4</sub> 群(CCl<sub>4</sub>+LXR-a, i.p.)

**誘発方法：**HFD\*負荷開始16日から4日に1回の頻度で、TAAあるいはCCl<sub>4</sub>を腹腔内投与する（Control群はコーン油）。LXR-aは、TAAあるいはCCl<sub>4</sub>の投与3回目の投与日から1日1回、5日間で腹腔内投与する（Control群はDMSO/PBS）。

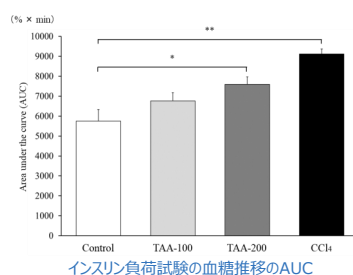
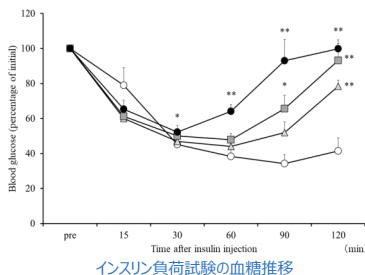
\* 高脂肪飼料(HFD)：HFD-60,オリエンタル酵母工業株式会社



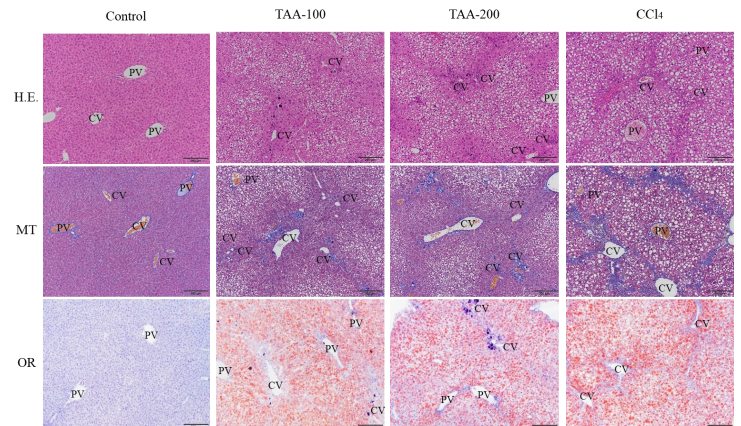
### 評価・結果

**評価方法：**血液生化学的検査、インスリン負荷試験、肝臓重量、肝臓の病理組織学的検査

**インスリン負荷試験：**TAAあるいはCCl<sub>4</sub>の最終投与の翌日に実施する。インスリン投与前の血糖値からインスリン腹腔内投与後120分までの血糖値変動曲線より曲線下面積を台形公式で算出する。



**病理組織学的検査：**TAAあるいはCCl<sub>4</sub>最終投与後24時間の採血後に肝臓を摘出し、標本を作製し観察する。



TAAまたはCCl<sub>4</sub>最終投与後24時間における肝臓のH.E.染色、MT染色およびOR染色像

**チオアセトアミドを使用し、LXR-aを投与して高脂肪飼料を給餌することで、  
短期間（28日間）で肝臓の線維化が発症。**

論文は、2024年1月27日発行の医学と薬理 81号に掲載しております。

“チオアセトアミドおよび肝臓X受容体アゴニストの投与による非アルコール性脂肪性肝炎モデルの確立”